

FE 推進・連携委員会の取り組むべき課題（2018 年度）（案）

2018/01/31 安成哲三

- ・（社会のステークホルダーを含む）FE 日本委員会と連携して、アカデミアとしての FE の国際および国内での推進を図る。
- ・FE 国際事務局（東京）、アジア地域センター（京都）と連携しながら FE に関する国際会議を企画する。特に、アジアでの FE に関する研究を推進するための国際会議や、日本が中心となって進めている KAN（知と実践のためのネットワーク）の研究課題に関する国際会議、ワークショップなどの企画・推進を行う
- ・国内での FE の研究コミュニティ、特に、20 以上あるグローバル研究プロジェクト（GRPs）の連携と協働を進める。学術会議でも、環境学委員会、地球惑星科学委員会、地域研究委員会などの傘下に、多くの GRPs 関連の小委員会が立ち上げられており、これらの連携・協働を推進する親委員会的な役割を担う。
- ・ICSU-ISSU の合同も踏まえ、FE に関連した文理連携・融合の国際連携と国内での研究活動の推進を、学術会議でも、第一部国際協力分科会など関係委員会、分科会などと連携して進める。
- ・地球環境研究および持続可能性科学の研究者コミュニティにおける学際および超学際的な研究および教育の推進を、SDGs に関連した研究・教育なども含めて、行う。